



日本語と中国語の味覚表現の比較：  
「甘い」「辛い」を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-02-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 崔, 明愛, 馬場, 俊臣 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.32150/00005865">https://doi.org/10.32150/00005865</a>

## 日本語と中国語の味覚表現の比較

— 「甘い」「辛い」を中心に —

崔 明愛・馬場 俊臣\*

北海道教育大学大学院教育学研究科・瀋陽師範大学日本語学部

\*北海道教育大学札幌校日本語学研究室

## Comparison of Taste Expression between Japanese and Chinese

— Focusing on “Amai”, “Karai” —

CUI Ming Ai and BABA Toshiomi \*

Graduate School of Education, Hokkaido University of Education Department of Japanese Linguistics, Shenyang Normal University

\*Department of Japanese Linguistics, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education

### 概 要

本稿では、日本語の味覚形容詞「甘い」「辛い」と中国語の味覚形容詞「甜」「辣」を対象とし、その意味派生に焦点を当て、用例に基づいて意味分析を行った。「甘い」「辛い」と「甜」「辣」の「味覚」以外の意味派生領域として、「他感覚」「体の感覚」「心的事象」「外界の事象」の4領域を挙げ、各語の異同を詳細に示した。ここで明示された両言語の意味派生における異同点は日本語学習者の多義語習得の助けになると思われる。

#### 1. はじめに

日本語の味覚形容詞「甘い」「辛い」は味覚を基本義として、ほかの様々な領域に意味が派生している多義語である。中国語の味覚形容詞「甜」「辣」も多義語で、味覚の基本義以外に様々な派生義を持っている。両言語の味覚表現は、類似点が多いと同時に、それぞれの特徴を持っている。例えば、「甘いリンゴ」と「女性に甘い」という日本語を中国語に訳すと、「甘いリンゴ」は直接

「甜苹果」に訳せるのに対し、「女性に甘い」は「对女孩甜」に訳すと不自然になる。日本語の「甘い」は「女性に対する態度が厳しくない」という意味を表しているが、中国語の「甜」にはこのような意味はない。味覚表現における異同を明示することは、中国語話者の日本語学習者の多義語習得の助けになると思われる。

本稿では、日本語と中国語の味覚形容詞「甘い」「辛い」および「甜」「辣」を対象として、各語の多義的意味を考察、分析し、両言語の意味

派生における共通点と相違点を明らかにすることを目的とする。

以下、2節で先行研究と問題点を指摘する。3節で「甘い」、4節で「甜」、5節で「辛い」、6節で「辣」について、それぞれ用例に基づいて派生義の分析を行っていく。7節で本稿のまとめを述べる。

## 2. 先行研究

日本語における味覚形容詞の意味についての先行研究はいくつか見られる。武藤(2001)・小出(2003)は、意味派生を体系的に記述している。また、日本語をほかの言語と対照研究しているものに、尤(1994)・近(1997)・張(1999)・白(2005)・黄(2006)などが挙げられる。近(1997)は英語、白(2005)は韓国語と対照しており、これら以外は日本語と中国語との対照研究である。尤(1994)は、味に関するすべての形容詞を対象として、その比喩表現について比較している。張(1999)・黄(2006)は、味覚を表す「甘い、辛い、酸っぱい、苦い、塩辛い」といった五つの形容詞を中心にその派生義について比較しているが、意味派生の全体を体系的には捉えていない。

本稿では、日本語と中国語の「甘い」「辛い」に焦点を当て、味覚形容詞の意味拡張のありさまを対象領域に注目して記述する小出(2003)の方法を参考にして、各語の派生義を分析考察する。

小出(2003)では、四つの味覚形容詞の用法の広がり、大きく「人の内部の事象」「外界の事象」という二つの対象に注目して記述している。「人の内部の事象」は「味覚表現」「他感覚表現」「心的な事象の表現」に、「外界の事象」は「他者に対する姿勢、評価など」「外界の事物の状態」に細分類している。

本稿では、事例の分析に基づいて、「甘い」「辛い」「甜」「辣」の意味の広がりを考察する。主にCD-ROM版『新潮文庫の100冊』(新潮社)・CD-ROM版『新潮文庫の絶版100冊』(新潮社)、現代汉语語料庫(関西大学 現代中国語コーパス)、

CCL語料庫(北京大学汉语语言学研究中心 CCLコーパス)を利用して用例を収集した。収集した用例に基づいて、小出(2003)の分類を参考にしながら、意味の広がりを、「味覚」「他感覚」「体の感覚」「心的事象」「外界の事象」の五つに分けて記述していく。

なお、中国語の「甜」「辣」の用例に関しては、「甜」「辣」が含まれている「甘甜」「甜蜜蜜」「甜甜蜜蜜」「辛辣」「火辣辣」のような2字、3字、4字複合語も数多く存在している。中国語と日本語の味覚形容詞を対照研究している先行研究の尤(1994)・張(1999)・黄(2006)では、これらの複合語も研究対象としている。本稿もそれにならって「甜」「辣」が含まれている複合語も対象とすることを予め断わっておく。

## 3. 「甘い」

### 3.1 味覚

#### 3.1.1 基本義

(j1) 秋になると実も大きく甘い栗が出来て、真田侯は代々これを将軍家へ献上して、おほめをいたゞく仕来りになっている。<sup>(注1)</sup><sup>(注2)</sup>  
(子母沢寛『おとこ鷹』)

(j2) 少しばかり飲んだラオチューの酔いも手伝い、デザートの甘いお菓子を食べ終ると、ノンちゃんは心から満足して椅子の背にぐったりともたれ、久し振りの満腹感を楽しみながら、さて、これからどうやってお小遣をもらえばいいのかなと、甘い思案をめぐらせた。(柴田翔『ノンちゃんの冒険』)

「味覚」を表す「甘い」は、主に飲食物を口にした時の表現である。(j1)(j2)は糖分の入っている果実や菓子類などのようなものの味を修飾する時に使われ、「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」という意味を持っている。

#### 3.1.2 二次的表現<sup>(注3)</sup>

(j3) たいそうな御馳走といえる、山を越えてはるばる運ばれてくる魚はいたく塩づけにさ

れていて、たまに塩甘い魚があれば、それは最上等の珍重すべきものとされた。(北杜夫『楡家の人びと』)

(j4) ウイスキーは彼が家で寝酒に飲んでいる日本産のものより味が少し甘く、香ばしかった。(伊藤整『氾濫』)

(j3) (j4) の「甘い」は「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」の意味ではない。ここでの「甘い」は「塩分の塩辛さ、アルコール度の高さなど刺激の度合いが弱い、緩い」ということで「辛い」とも言える。カレーの甘い味もこの意味で使われる。

## 3.2 他感覚<sup>(注4)</sup>

### 3.2.1 嗅覚

#### 3.2.1.1 嗅覚①

(j5) 盛りをすぎてはいるがまだ花は咲きそろい、冷えた甘い香りが地にはっている。(加賀乙彦『湿原』)

(j6) 稲の花の甘いにおいが風といっしょに流れてくる。(石川達三『人間の壁』)

(j5) (j6) は、味覚から嗅覚へ派生した例文である。基本義である「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」のようなものを口にする時の心地よい感覚から嗅覚に派生している。「甘い香り」「甘いにおい」は「快い香り、心地よいにおい」という意味になる。

#### 3.2.1.2 嗅覚②

(j7) そして彼女のなつかしい、いつも彼女が漂わせていたあの甘い香りとやさしい雰囲気胸いっぱい吸いこみました。(筒井康隆『エディプスの恋人』)

(j8) 綾波は僕の背中におぶさる。綾波の胸のふくらみを背中に感じる。綾波の甘い匂いが鼻腔をくすぐる。(http://www.asahi-net.or.jp/~GW6K-KSI/AD2021/maison11.htm)

(j7) (j8) も嗅覚への派生であるが、「甘い香り」や「甘い匂い」の主体は女性で、それを「甘い」と感じるのは男性である。ここでは「快い香

り」「心地よい匂い」のほかに「異性をうっとりさせ、誘い込むような」意味も含まれていると考えられる。

### 3.2.2 聴覚

(j9) 彼女は、会うたび何かインスピレーションのようなものをあたえてくれ、その甘い声は、生きる力の源泉をくすぐられるような想いに土岐を誘うのだ。(青山光三『われらが風狂の師』)

(j10) うっとり眼をとじたままで、耳掃除をさせながら小兵衛が、間もなく六十になるという老人とはおもえぬ甘い声で「そうかえ」と、こたえる。(池波正太郎『剣客商売』)

ここでは、味覚から聴覚への派生である。(j9) の「甘い声」は、「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」のようなものを口にする時の心地よい感覚から耳で感じる聴覚に派生して使われている。ここでの「甘い声」は、糖分を含んだものを味わったとき人を満足させるような「心地よい声」を表す。(j10) も同じ意味で使われているが、声の主体は (j9) と違って、男性である。

### 3.2.3 視覚

(j11) その髪と、やや甘い表情の眼もとを見ると、太郎の胸は揺すぶられるのであった。(曾野綾子『太郎物語 (大学編)』)

(j12) 先ほどまでの愛情に満ち足りた甘い表情ではなく、真剣な眼差しで秀信を見つめた。(http://www5a.biglobe.ne.jp/~nobutugu/kakusei01/tensyou01-07.htm)

ここでは、「甘い」の意味が味覚から視覚へ派生している。(j11) の「甘い表情」は見る人に「心を揺さぶる」ような「うっとりとした感覚」を与え、(j12) の「愛情に満ち足りた」「甘い表情」も見る人に同様の感覚を与えることになる。

## 3.3 心的事象

### 3.3.1 「甘い」という心的感覚を起こす事象

(j13) 芸術家気質で、厄介なところがあるが、

作品はとてもナイーブですどくて、甘い雰囲気があるね。(藤原審爾『先に愛ありて』)  
(j14) 併し、そんなみどりの不安も、いつも高男の甘い言葉一つで跡形もなく消えて行った。(井上靖『射程』)

(j13) (j14) の「甘い雰囲気」「甘い言葉」は「主体に好まれる快い心理的感覚」を表すものであるが、(j13) のようにプラスの意味で使われる場合もあるし、(j14) のようにマイナスの意味で使われることもある。

### 3.3.2 心理感覚

#### 3.3.2.1 プラスのイメージを持つ言葉

(j15) 信夫は、何ともいえない甘い喜びが、わきあがってくるのを感じた。(三浦綾子『塩狩峠』)

(j16) しかし多くの場合、女はじつにつまらない理由から泣いているにすぎないし、涙を流すことは甘い愉楽でさえあるのだ。(倉橋由美子『聖少女』)

こども、「主体に好まれる快い心理的感覚」であるが、修飾対象となる「喜び」「愉楽」などは、プラスのイメージを持つ言葉で、(j15) (j16) のようなタイプのもはプラスの意味でしか使われていないと考えられる。

#### 3.3.2.2 中立のイメージを持つ言葉

(j17) かつての甘い期待は裏切られ、逆の苦い失望感だけが残った。(星新一『人民は弱し 官吏は強し』)

(j18) 彼女等が、幼い麻理を、小さい妹として、可愛がってくれてると思ったのは、甘い幻想だった。(獅子文六『娘と私』)

こども、「主体に好まれる快い心理的感覚」であるが、修飾対象となる「期待」「幻想」などは、中立のイメージを持つ言葉で、「夢」「憧れ」「記憶」などもこのタイプに属している。

#### 3.3.2.3 マイナスのイメージを持つ言葉

(j19) そのときかれは叱られた少年のように泣きだしそうな顔をしていた、あなたは右手のスーツケースを置いてかれに手をさしだし

た、哀しみの微笑、愛のために溶けそうな甘い哀しみの微笑を送りながら。(倉橋由美子『暗い旅』)

(j20) そしていまあなたのとざされた眼から透明な涙があふれはじめたのは、あなたが信じまいとしていた罪や破戒の観念が、感傷でゆるんだ堤防を破ってにわかにあふれでたためだ、かれを裏切っているという甘い罪悪感があるあなたの涙をさそったのだ……(倉橋由美子『暗い旅』)

(j19) (j20) では、「哀しみ」「罪悪感」のようなマイナスのイメージを持つ言葉と共起している。このタイプの「甘い」は、二次的表現の「刺激の度合いが弱い、緩い」という意味からの派生であると思われる。つまり、ここではマイナスの気持ちの「程度が弱い」という意味で使われていると考えられる。

### 3.3.3 男女関係における感情

(j21) 一緒になった二人の結婚生活は、はじめのうちこそ甘く濃やかなものであった。(北杜夫『楡家の人びと』)

(j22) 自分の耳元にささやいたふじ子の声を思い出すたびに、信夫は甘い感情にひたった。(三浦綾子『塩狩峠』)

(j21) (j22) では、「もの(結婚生活)」「(ふじ子の声を思い出す時の信夫の)感情」を修飾対象としていることから、恋愛関係にある二人が醸し出す「うっとりとした、幸福で親密な様子」という意味で捉えられていると思われる。これは、砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだものを口にした時の快い気持ちや幸せな気持ちなどから派生していると考えられる。

### 3.4 外界の事象

#### 3.4.1 他者に対する態度・姿勢

(j23) なるほど、中途半端な女学者をつくり出す東北大学は女に甘いということになるだろうが、女性の側からすれば、哲学志望の女子学生をうけ入れる大学は東北大学しかない

のだから、どっちみち彼女らは甘やかされる運命にあるのかと、そのとき、西谷は思ったことであった。(青山光三『われらが風狂の師』)

(j24) 「僕はどうも女の子には甘いようですね  
(円地文子『食卓のない家』)

(j23) (j24) は、「東北大学」が「女」に、「僕」が「女の子」に対する態度・姿勢で、「きびしさを欠いている」意味に使われる。これも二次的表現の「刺激の度合いが弱い、緩い」という意味から、「何か物足りない、不足している、厳しさが弱い」という意味に派生したのではないと思われる。

### 3.4.2 物事に対する姿勢

(j25) 「きみの考え方は甘いよ」眼鏡のフレームをはずれた目を、土岐は尖らせた。(青山光三『われらが風狂の師』)

(j26) 目前の人間の姿は、そんな甘い見方を許さなかった。(大仏次郎『帰郷』)

(j25) (j26) で、「甘い」の対象は「考え方」「見方」のような物事に対する思考・態度を表すもので、その思考や態度に「隙や緩みがあって、厳密さが欠如している」意味を表している。これも二次的表現から派生している。

### 3.4.3 他者に対する評価

(j27) 育児休業制度の推進で「女性の育休取得率が上がった」とする厚労省に対し、出産で退職した女性の数が取得率の計算に考慮されておらず効果の評価が過大と指摘するなど甘い自己評価に厳しい指摘が目立った。(http://mediajam.info/topic/707071)

(j28) というのは、いくら熱心にかつ良心的に教えても、どうしても学生に好かれない人間がいるし、学生の判断にあまりにも依存すると、試験を易しくしたり、評点を甘くしたりとかで学生のご機嫌をとる者の出てくる恐れがあるからだ。(藤原正彦『若き数学者のアメリカ』)

(j27) では、「効果の評価が過大」ということを「甘い評価」という言葉で表現している。(j27) (j28) ように「評価」「評点」などが対象になる時、「甘い」は「尺度上の基準を超えて評価される」ということから、「評価が厳しくない」という意味として使われる。

### 3.4.4 外界の事物の状態

(j29) マクロ撮影でピントが甘い写真の大半は手ぶれと被写体ブレ(風で花が動く)です。(http://www5f.biglobe.ne.jp/~m-a-yo/pintoawase.htm)

(j30) 多分クラッチスプリングの取り付けネジが甘いんだと思う、だからクラッチアウターがきちんと動かない、だからクラッチが切れない。(http://passedtime.blog12.fc2.com/blog-entry-1041.html)

(j29) (j30) では、「ピント」「ネジ」のような「二つの合うべきものが、隙や緩みにより合っていない状態になっている」ことを表す。この種類の「甘い」は、「合うべきものが合っていない状態、不完全な状態」という意味を表している。これも、二次的表現から派生していると思われる。

## 4. 「甜」

### 4.1 味覚

#### 4.1.1 基本義

(c1) 但让人最馋嘴的，还是那甜甜无比的老南瓜粥。(2000.06.24) (注5)

(しかし、最も人が食べたがっているのは、やはりあのとても甘いカボチャのおかゆである。) (注6)

(c2) 甜甜的糖果含在口中，却有股酸酸的味道。(『人民日报』1996)

(甘い飴を口の中にくわえているけど、酸っぱい味がする。)

(c1) (c2) では、「カボチャのおかゆ」「飴」の味が「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」という意味である。

#### 4.1.2 二次的表現

(c3) 当甘甜的黄河水从家门口的自来水龙头喷涌而出时，乡亲们欣喜若狂，村村寨寨响起了欢快的鞭炮声。(2000.01.05)

(甘い黄河水が家の前の水道蛇口から湧き出る時，農民たちは有頂天になり，村中に，晴れ晴れした爆竹の音が鳴り始めた。)

(c4) 年底，她辞去了百货商店营业员的职务，在布达拉宫脚下开了一家甜茶馆。(『人民日报』1994)

(年末に，彼女はデパートの仕事をやめて，ブダラグウの下で甘いお茶屋をオープンした。)

(c3) (c4) の例は，その対象が「水」と「お茶」に限られていて，「塩分のない，苦くない」という意味で使われている。これは，日本語の「甘い」の二次的表現と似ているが，「酒やカレーなどの刺激の度合いが弱い」という意味は含まれていない。

#### 4.2 他感覚

##### 4.2.1 嗅覚

(c5) 蒙自的石榴熟了，空气中弥漫着一丝丝的甜意。(2000.10.10)

(蒙自(地名)のザグロが実った。空気の中に甘い匂いが漂っている。)

(c6) 我想，我们这些生活在内地的人，生活在甜甜的空气中的人，应该为缺少绿色，缺少氧气的帕米尔做些什么呢？(2000.09.02)

(私は，我々のような内陸に住んでいる人，甘い空気の中に住んでいる人は，緑の少ない，酸素の少ない帕米尔(地名)のために何をすべきかと思った。)

(c5) の匂いは「ザグロが実った時に周りに漂う匂い」で，「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」から嗅覚に派生した例文である。(c6) の空気は，「緑が多く，酸素がたくさん含まれる空気」をさしているもので，(c5) と違う意味に派生している。普通砂糖や蜂蜜のような糖分の多いものは人々に好まれる心地よい感覚である。ここでは，「酸素がたくさん含まれる，新鮮な空気」を吸った時，

「人々に好まれる心地よい感覚」がすることから，嗅覚に派生していると見られる。

##### 4.2.2 聴覚

(c7) 孩子们明净甜美的歌声，纯真优美的表演，赢得了观众们的心灵共鸣。(2000.05.14)

(子供達の明るくて甘い歌声，純粋で優美なパフォーマンスは観衆の共鳴を得た。)

(c8) 首都少年儿童甜美的童声献辞，如同九月金色的风，吹暖了妈妈们的心。(『人民日报』1993)

(首都少年兒童の甘い声の祝辞は，九月の金色の風のように，お母さんたちの心を温かくさせた。)

(c7) (c8) の「声」は，「子供」と「若い女性」の「声」である。ここでは，「甘い」声が「観衆の共鳴を得た」「心を温かくさせた」ことから，その声は「人をうっとりさせるような心地よい」声であることが視える。

##### 4.2.3 視覚

(c9) 你只要打开电视，一定可以在CCTV—6中看到她亲切又甜美的笑脸。(2002.01.18)

(テレビをつけると，いつでもCCTV—6チャンネルで彼女の親切で甘い笑顔を見ることができる。)

(c10) 中国姑娘甜美的微笑，给观众留下美好的印象。(2000.09.20)

(中国人女性の甘い微笑みは，観衆にいい印象を与えた。)

(c9) (c10) の例は，視覚への派生であるが，これは，主に「笑顔」「微笑み」を修飾する時に使われ，「親切」「いい印象」などの言葉との共起から「人をうっとりさせるような心地よい」という意味で使われる。

#### 4.3 心的事象

##### 4.3.1 「甘い」という心的感覚を起こす事象

(c11) 在她们甜蜜蜜的语言和火辣辣的目光下你若不掏腰包似乎心就虚，就有种负疚感，总

觉得有点对不住人家的这份厚爱. (『人民日报』1995)

(彼女らの甘い言葉と辛い視線の元で、お金を下さないと心細いらしく、気も引けて、どうも人の深い思いやりに申し訳ないような気がする。)

(c12) 在高某的甜言蜜语下, 她交了4000元“押金”以及一切乱七八糟的费用合计近万元. (2001.06.08)

(高さんの甘い言葉に騙され、彼女は「保証金」4000元と他のいろいろな費用も合わせて一万元近く出した。)

ここでは、主に言葉類を修飾の対象としているが、日本語の「甘い」より対象の範囲が狭い。(c11) (c12) の「甘い」は「言葉」が「巧みで人をうっとりさせるような心地よい感覚」という意味で、心的感覚を起こす事象に派生している。(c11) がプラスの意味で使われているのに対し、(c12) はマイナスの意味で使われている。プラスマイナス両方の使い方があるという点については、日本語の「甘い」と同じである。

#### 4.3.2 心理感覚

##### 4.3.2.1 中立のイメージを持つ言葉

(c13) 这本日记将带给你的是一份温馨的回忆或甜美的幻想. (『读者』合订本)

(この日記はあなたに暖かい思い出や甘い幻想を与えるだろう。)

(c14) 曾经甜蜜绮丽的憧憬不知何时起变得苦不堪言. (陈越『戴安娜3』)

(かつて甘くてきれいな憧れは何時ごろからか言葉で表現できないほど苦くなっていた。)

(c13) (c14) では、主に「幻想」「憧れ」のような中立のイメージを持つ言葉を修飾している。これも日本語と同じく「主体に好まれる快い心理感覚」という心理感覚に派生していると思われる。

##### 4.3.2.2 マイナスのイメージを持つ言葉

(c15) 想到那令人心醉的爱的气息, 灵儿又一次陷入甜蜜的痛苦中. (唐敏『圣殿』)

(人をうっとりさせるような愛の息を思い出すと、霊 (人名) はもう一度甘い苦痛に陥った。)

(c16) 写作原来是一种“甜美的苦役”. (『读书』vol.156)

(創作はもともと1種の「甘い苦役」である。)

(c15) (c16) は「苦痛」「苦役」のようなマイナスのイメージを持つ言葉と共起することが多い。日本語の「甘い」もこのタイプの使い方があがるが、それと異なる意味に派生している。(c15) の「甘い苦痛」は「幸せで心地よい」苦痛の意味を表している。(c16) の「甘い苦役」についても同様のことが言える。つまり、「苦痛」「苦役」などのマイナスの感情を感じているが、それがまた「幸せで、心地よい」気持ちでもあるという矛盾した心理感覚を表す時に使われる表現である。

#### 4.3.3 男女関係における感情

(c17) 我们都笑他们老夫老妻还像新婚夫妇那样甜甜蜜蜜每天必通电话. (2000.06.06)

(私たちは彼ら老夫婦が新婚夫婦のように甘く、毎日必ず電話することをからかった。)

(c18) 一个姑娘挎着小伙子的胳膊, 倚在他肩膀, 正甜甜蜜蜜说着什么. (施亮『无影人』)

(一人の若い女性が男の人と腕を組み、彼の肩にもたれて、何か甘く話している。)

これらは、「夫婦」や「恋人」のような男女の関係が親密であることを表す時に使われる表現で、砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだものを口にした時の「快い気持ちや幸せな気持ち」から派生していると考えられる。

#### 4.4 外界の事象

##### 4.4.1 時間に関するもの

(c19) 相机里留下了甜蜜的瞬间. (解波, 程裕祯『右乳亮的朱丽叶铜像』)

(カメラに甘い瞬間が留められた。)

(c20) 此后的两年, 也许是陈剑戈一生中最甜蜜的时光, 但这段时光太短了. (李伶『越籍中国将军的婚恋传奇』)

(それからの二年は、陳劍戈の一生の中で一番甘い時期かもしれない、しかしこの時間は短すぎる。)

(c19) (c20) は、主に「瞬間」「時期」のような時間と関係あるものを修飾対象として、「瞬間」「それからの二年間」が、「幸せで、楽しかった」瞬間、または時期だという意味を表している。これも、砂糖のような甘いものを口にした時の、「幸せで、快い」感覚から派生している。これは、日本語の「甘い」には直接対応しない意味である。

#### 4.4.2 眠る様子

(c21) 全胡同里没有一点声音，人们还都睡得正香甜。(老舍『四世同堂』)

(横町内は何の音もなく、人々はまだ甘く寝ている。)

(c22) 进入炎夏，闷热难熬，夏夜睡得香甜，休息好，尤显重要。(2000.06.16)

(酷暑に入って、蒸し暑さが耐えられなくなり、夏の夜甘く眠って、十分休めるのが最も重要な事になる。)

(c21) (c22) では、「気持ちよくぐっすり寝ている様子」を表す表現で、同じく甘いものを口にした時の、「快い気持ち」から派生していると見られる。この意味も日本語の「甘い」では用いられない。

#### 4.5 「甘い」と「甜」のまとめ

「甘い」と「甜」は基本義において両方とも「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」を指す味覚表現である。また、両方とも味覚表現から、味覚以外の他感覚に派生していることが類似している。さらに、「心的事象」「外界の事象」にも派生が見られる。

「甘い」の二次的表現が「塩分が少ない、アルコール度が低いなど刺激の度合いが弱い、緩い」という意味を持っているのに対し、「甜」の二次的表現は、「水、お茶」という二つの対象に限られていて、「塩分のない、苦くない」という意味しか持っ

ていない。「甘い」の「酒やカレーなどのような刺激の度合いが弱い」という意味はない。

さらに、「甘い」が二次的表現から「マイナスのイメージを持つ言葉」「他者に対する態度、姿勢」「物事に対する姿勢」「外界の事物の状態」などに派生しているのに対し、「甜」にはそれらの派生は見られず、基本義から「時間に関するもの」「眠る様子」に派生している。

## 5. 「辛い」

### 5.1 味覚

#### 5.1.1 基本義①

(j31) それが現在のような真っ赤な辛いキムチになったのは朝鮮時代も中期以降のことです。

([http://world.kbs.co.kr/japanese/korea/korea\\_cookhistory\\_detail.htm?No=94](http://world.kbs.co.kr/japanese/korea/korea_cookhistory_detail.htm?No=94))

(j32) 韓国には「小さな唐辛子が辛い」ということわざがあります。(http://world.kbs.co.kr/japanese/korea/korea\_cookhistory\_detail.htm?No=97)

(j31) (j32) の「辛い」は「唐辛子やわさびなどのような痛覚による刺激が強い」という意味の味覚表現である。

#### 5.1.2 基本義②

(j33) 味噌はあんまり入れるなよ、コンビーフが辛いからな。(曾野綾子『太郎物語(高校編)』)

(j34) 一人前ずつの小さな塗りのお盆に、汁粉椀がのせられてあり、傍にちゃんと、シソの実の辛く煮たのも、そえられてあった。(曾野綾子『太郎物語(高校編)』)

(j33) (j34) も味覚表現の基本義であるが、(j31) (j32) と違って痛覚による刺激ではなく、「塩分による刺激が強い」という意味として使われる味覚表現である。

#### 5.1.3 二次的表現

(j35) 辛い酒は量も出るし、アルコール度数も出る。(http://www.tajimagaku.net/

houkoku/01/mika\_0205\_touji.html)

(j36) ソムリエさんが言うにはオーストリアやドイツでも最近は甘いワインよりも辛いワインの生産量が増えてるんですって。世界的なニーズに合わせてるんですね。(http://blog.mimosacooking.main.jp/?eid=1033001)

ここでは、お酒を対象とする時に使われる「甘い」の二次的表現と対応している意味の表現である。つまり、(j35) (j36) の「辛い」は、「アルコール度が高い」ことから「刺激が強い」「甘さを欠いている、甘さが足りない」という意味であろう。この「甘さ」は、砂糖の甘さと違って、お酒の味における「甘さ」である。

## 5.2 外界の事象（他者に対する評価）

(j37) しかし随分油を搾られたよ、私は決して辛い点はつけない、現に一年で私が満点をつけた生徒もいる、なんてね。(福永武彦『草の花』)

(j38) 私はソファーに対するのと同じようにサンドウィッチに対してもかなり評価の辛い方だと思うが、そのサンドウィッチは私の定めた基準線を軽くクリアしていた。(村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』)

(j37) (j38) の用法も、「甘い」の他者に対する評価と対応する用法で、「評価が尺度上の基準を超えて厳しい」という意味を表している。

## 6. 「辣」

### 6.1 味覚（基本義）

(c23) 不少人说，四川菜和湖南菜都讲究个辣. (2000.04.15)  
(多くの方は、四川料理と湖南料理は皆辛い味を重んじると言っている。)

(c24) “听口音知道你是北方人，北方人一般不爱吃辣的，我也没放那么多。”(『人民日报』1993)

(「あなたの発音から北の方の人だとわかりま

した。北の方の方は普通辛いのがあまり好きじゃないので、そんなにたくさん入れてないのです。)

ここでは「唐辛子やにんにくのようなすべての刺激の強い味」を表す意味で、それを口にした時、「ひりひりするような刺激の強い感覚」を与える味覚表現である。

## 6.2 他感覚

### 6.2.1 嗅覚

(c25) 她突然意识到，这是他身上所带的药材发出的辛辣气味。(翻译作品『龙枪传奇』)  
(彼女は突然、この匂いは彼が持っている薬剤が出している辛い匂いであることに気づいた。)

(c26) 突然，闻到一股辣味，敌人从炸开的口子放了毒气。(雪克『战斗的青春』)  
(突然、一筋の辛い匂いを嗅いだ。敵が爆発口から毒ガスを入れたのである。)

(c25) (c26) の「匂い」は、薬剤から出される刺激の強い匂いや毒ガスのような刺激の強い匂いである。ここは、「唐辛子のような刺激の強い味」という味覚から嗅覚に派生していると見られる。この意味の使い方は、日本語の「辛い」には置き換えられない。

### 6.2.2 聴覚

(c27) 刑讯室里又传来了声音，是徐鹏飞毒辣的笑声。(罗广斌『红岩』)  
(拷問室の中でまた声が伝わってきた。それは徐鹏飞の辛い笑い声である。)

(c28) 她已经在做撤回城里的准备，百无聊赖，常常在茅屋里发出泼辣的叫声。(张炜『柏慧』)  
(彼女はすでに市内に引き上げる準備をしていた。退屈で仕方がなく、いつもあばら家で辛い叫び声を出している。)

(c27) (c28) は主に「笑い声」「叫び声」を修飾して、「激しく、きつい声」という意味で聴覚に派生している。日本語の「辛い」にはこれに対応する意味はない。

### 6.2.3 視覚

(c29) 常在他热辣辣的目光中, 她的心不知不觉也在起变化。(黎莉『林凤眠不回故乡之谜』)  
(よく彼の辛い視線で、彼女の気持ちもいつの間にか変化している。)

(c30) 在她们甜蜜蜜的语言和火辣辣的目光下你若不掏腰包似乎心就虚, 就有种负疚感, 总觉得有点对不住人家的这份厚爱。(『人民日报』1995)((c11)再掲)  
(彼女らの甘い言葉と辛い視線の元で、お金を出さないと心細いらしく、気も引けて、どうも人の深い思いやりに申し訳ないような気がする。)

(c29)(c30)は、視覚への派生である。この「辛い視線は」は「感情の動きが激しい熱い視線」という意味で、「ひりひりするような刺激の強い」感覚が視覚に派生していると思われる。日本語の「辛い」には、これに対応する意味はない。

### 6.3 体の感覚

(c31) 到了晌午, 骄阳火辣辣的, 妇女们口渴难忍。(2001.03.01)

(昼になって、日差しが辛く、婦人達は喉が渴いてたまらなくなった。)

(c32) 车快到横江站时, 一群养路工正在热辣辣的阳光下养道。(2001.04.21)

(車が横江駅に近づく時、道路を補修する人たちが辛い太陽の下で作業をしていた。)

(c33) 被子弹打中的感觉真是火辣辣的疼。(王朔『看上去很美』)

(銃弾に当たった感覚は本当に辛いほど痛い。)

(c34) 一条条的鞭痕烙印在安娜的身上, 她周身感到火辣辣的疼痛。(桑逢康『郭沫若和他的三位夫人』)

(一本一本のみみずばれがアンナの体に烙印を押しした。彼女は全身辛い痛みを感じた。)

これらは、体の感覚に派生した表現である。

(c31)(c32)は太陽の光が主体となってその光が人に「ひりひりするほど熱い感覚」を与えるという意味で使われる。(c33)(c34)も人の体に与え

る感覚であるが、太陽の光によるものでなく、「銃弾」や「鞭」などが体に当たった時の「痛みがひりひりするほどである」という意味で使われる。日本語の「辛い」には対応する意味はない。

### 6.4 心的事象

#### 6.4.1 感情の動き

(c35) 青苗听了杜大叔的指责脸上火辣辣的。(浩然『夏青苗求师』)

(青苗は杜伯父さんの指摘を聞いて顔が辛くなった。)

(c36) 我脸上热辣辣, 自尊心受到极大伤害。(权延赤『红墙内外』)

(私は顔が辛くなり、プライドが強く傷つけられた。)

(c37) 什么样的女孩儿能够经得住这样热辣辣的, 含意深长的情话。(王海鸽『中国式离婚』)

(どのような女の子がこんなに辛く、意味深い愛のささやきに耐えられるだろう。)

(c38) 的确歌谣中的爱情火辣辣的, 叫你羞于启齿, 却永远也不会忘记。(『读者』合订本)

(確かに歌の中の愛情は辛く、口にするのに恥ずかしいけれど、永遠に忘れられないだろう。)

これらは、主に感情の動きについての表現である。(c35)(c36)は、「羞恥心などで感情が激しており、顔がかっかとはてる様子」を表す表現で、辛いものを口にした時の味覚の刺激によって、顔が真っ赤になることから派生しているとみられる。(c37)(c38)も感情の動きについての表現であるが、やや違う意味で使われている。ここでは、男女における愛情を修飾の対象として、その「感情の動きが激しく、熱烈な様子である」という意味で使われる。日本語の「辛い」には対応する意味はない。

#### 6.4.2 女性の性格

(c39) 这是一位泼辣的女性, 灵秀的目光中透着倔强与执著。(2000.05.30)

(この人は性格の辛い女性である。賢い眼には意地っ張り執着が透き通っている。)

(c40) 我实际上不过是一个泼辣的女性, 不能做贤妻良母, 请你从此把我忘掉. (王素萍『她还没有叫江青的时候』)

(正直に私は性格の辛い女性で、良妻賢母になれないから、私を忘れてください。)

ここは、主に女性の性格を修飾する表現に使われている。(c39) (c40) は、女性の性格が「横暴で、筋を通さない」という意味を持っている。おもしろに、マイナスの意味に使われる表現であるが、最近ではプラスの意味にも使われていることもある。例えば、「原来, 赵一曼是位生性泼辣, 直爽, 追求进步的少女.」(刘德鑫『罗日卿与赵一曼』)で、「泼辣」は、プラスの意味で使われている。理由として一つ目は「泼辣」の修飾対象となる「赵一曼」は中国でよく知られる革命英雄であることと、二つ目は、「泼辣」以外の修飾名詞「直爽」「追求进步的」はすべてプラスの意味を持つ言葉であるからである。「泼辣」がプラスの意味で使用されるとき、「性格がてきぱきとしている」という意味を表す。日本の「辛い」にはこれに対応する意味はない。

## 6.5 外界の事象

### 6.5.1 仕事ぶり

(c41) 张蕊珍原是乡官, 工作泼辣, 待人热情. (2000.07.11)

(張蕊珍はもともと郷の幹部であるが、仕事は辛く, 熱心に人に接する人である。)

(c42) 这当然不是主要的, 吸引士兵到这里来的主要原因, 是方兰——年轻漂亮, 心眼好, 工作泼辣的姑娘. (叶楠『祝你运气好』)

(これは当然主な原因ではない、兵士をここに引き付けた主な原因は方蘭である。彼女は若くてきれいだし、心も優しいし、仕事も辛いお嬢さんである。)

(c41) (c42) は、仕事ぶりが「てきぱきしている」という意味を表して、プラスの意味に多用されている。日本語の「辛い」には対応する意

味はない。

### 6.5.2 言葉, 文章の特徴

(c43) 评论家指出她善于使用辛辣讽刺的笔法写生活中的悲剧和喜剧. (『读书』 vol.062)

(彼女は辛い風刺の書き方で生活の悲劇と喜劇を書くことに長じていると評論家が指摘した。)

(c44) 律师辛辣的言论刺激着法官们的厚脸皮. (翻译作品『母亲』)

(弁護士の辛い言葉は裁判官の鉄面皮を刺激している。)

(c43) (c44) は、言葉や文章のスタイルなどを対象にして、その言葉使いが「鋭く、辛辣である」という特徴を持っていることを表す時に使われている。これは、「辣」の基本義である「唐辛子やにんにくのようなすべての刺激の強い味」といった意味から派生していると思われる。日本語の「辛い」には対応する意味はない。

### 6.5.3 芸術作品の特徴

(c45) 文风泼辣, 语言幽默, 是魏文之最大特色. (2000.03.04)

(文章の風格が辛く, 言葉がユーモアなことは魏文之の最大の特徴である。)

(c46) 他的山水画笔墨泼辣, 洒洒脱脱, 无拘无束. (『人民日报』1993)

(彼の山水画は画風が辛く, こだわりもなく、自由自在である。)

(c45) (c46) は芸術作品のスタイル、特徴を表すときに使われる表現であるが、ここでは、「氣迫がある、氣勢がある」という意味を持っている。「氣迫や氣勢のある」芸術作品はそれを見る人を感動させ、刺激を与える。それは、辛いものを口にした時に感じている感覚に似ていることから、この意味に派生したのであろう。日本語の「辛い」には対応する意味はない。

### 6.5.4 手口, やり方

(c47) 这个老太婆是吸血鬼, 心狠手辣, 她对

大家有害无益. (『读书』 vol.091)

(このおばあさんは吸血鬼で、無情で手口が辛い。彼女はみんなにとって有害で無益な人です。)

(c48) 我不能不特别小心, 他们手段实在太毒辣了. (古龙『天涯・明月・刀』)

(彼らの手段が本当に辛いから、私は特に気をつけなければなりません。)

(c47) (c48) は、手口、やり方が主体になることが多い。ここでは、手口、やり方が「激しくひどい、悪辣である」ことを意味している。ここも、「激しくひどい、悪辣な手口、やり方」がそれを受ける人に「強い刺激を与える」ことになる。言い換えれば、この意味は、「辣」の基本義である「唐辛子やにんにくのようなすべての刺激の強い味」から派生しているとみられる。

## 6.6 「辛い」と「辣」のまとめ

「辛い」が「唐辛子のような痛覚、刺激の強い味」「塩分による刺激が強い」という二つの基本義をもっているのに対し、「辣」には「唐辛子やにんにくのようなすべての刺激の強い味」という基本義しか持っていない。また、「辣」は「辛い」の「甘さを欠いている、甘さが足りない」という二次的表現もない。さらに、「辛い」が「他者に対する評価」という一つの領域にしか派生していないのに対し、「辣」の方は、「他感覚」の「嗅覚」「聴覚」「視覚」、「体の感覚」、「心的事象」の「感情の動き」「女性の性格」、「外界の事象」の「仕事ぶり」「言葉、文章の特徴」「芸術作品の特徴」「手口、やり方」という広い範囲に派生している。

## 7. まとめ

本稿では、日本語と中国語の味覚形容詞の派生に焦点を当て、両言語の共通点と相違点について具体的な考察を試みた。その結果についてすでに各項で指摘しているが、四つの言葉の各派生領域を表にまとめて次頁に示す。

「甘い」と「甜」はいずれも基本義から、「他感覚」、「心的事象」に派生しているが、細かく見ると「心理感覚」で、相違点が見られる。「心理感覚」で、「甘い」が「プラス、中立、マイナス」という各イメージの言葉を修飾しているのに対し、「甜」は「プラス」のイメージの言葉とは共起しない。さらに、「甘い」が「プラス、中立」のイメージの言葉を修飾する時、基本義の「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」から「主体に好まれる快い心理感覚」に派生しているものと「マイナス」のイメージの言葉と共起する時、二次的表現の「刺激の度合いが弱い、緩い」から「程度が弱い」という意味に派生しているものの二種類に分かれているのに対し、中国語の「甜」は「中立」のイメージの言葉と共起する時も「マイナス」のイメージの言葉と共起する時も、基本義である「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」から「主体に好まれる快い心理感覚」に派生している。

「甘い」が外界の事象を主体にする時、「刺激の度合いが弱い、緩い」という二次的表現から「他者に対する態度、姿勢」「物事に対する姿勢」「外界の事物の状態」などに派生しているのに対し、「甜」にはそれらの派生は見られず、「砂糖や蜂蜜のような糖分を含んだ味」という基本義から「時間に関するもの」「眠る様子」に派生している。

「辛い」と「辣」においては、「辛い」が「他者に対する評価」にしか派生していないが、「辣」は「他感覚」、「体の感覚」、「心的事象」、「外界の事象」の広い範囲に派生していることに大きな相違点が見られる。それは、日本語の「辛い」は「唐辛子の痛覚による刺激と塩分による刺激」といった生理感覚を表現しているのに対し、「辣」は「唐辛子やにんにく、わさびなどすべての刺激の強い味」を表していることに関係しているだろう。「辣」は、そのような味覚による感覚から嗅覚、聴覚、視覚、体の感覚などに派生し、さらに心的事象、外界の事象などに派生している。

本稿は、味覚形容詞の派生領域に基づいて考察することで、日本語と中国語の「甘い」「辛い」

## 「甘い」「辛い」の意味派生の比較

		甘い (日本語)	甜 (中国語)	辛い (日本語)	辣 (中国語)
味覚	基本義	○	○	○	○
	二次的表現	○	○	○	-
他感覚(嗅覚, 聴覚, 視覚)		○	○	-	○
体の感覚		-	-	-	○
心的事象	「甘い」という心的感覚を起こす事象	○	○	-	-
	心理感覚	○	○	-	-
	男女関係における感情	○	○	-	-
	感情の動き	-	-	-	○
	女性の性格	-	-	-	○
外界の事象	他者に対する態度・姿勢	○	-	-	-
	物事に対する姿勢	○	-	-	-
	他者に対する評価	○	-	○	-
	外界の事物の状態	○	-	-	-
	時間に関するもの	-	○	-	-
	眠る様子	-	○	-	-
	仕事ぶり	-	-	-	○
	言葉, 文章の特徴	-	-	-	○
	芸術作品の特徴	-	-	-	○
手口, やり方	-	-	-	○	

(表の中の○は派生表現があるもの, -は派生表現がないものを表す。)

の派生義を比較検討し、両言語における相違点を明示した。これらの結果は日本語学習者の多義語習得の助けとなると思われる。

## 注

- 1 用例の前にある( )内は用例の番号であり、「j」は日本語の用例, 「c」は中国語の用例を表している。
- 2 日本語の用例はCD-ROM版『新潮文庫の100冊』(新潮社)・CD-ROM版『新潮文庫の絶版100冊』(新潮社)を利用し、用例出典には作者と書名を記した。ただし、一部はインターネット上のホームページから検索したものも含まれており、URLを記した。
- 3 「二次的表現」は小出(2003)の味覚表現の意味分類における用語である。「二次的表現」とは、必ずしも糖分に対する味細胞の反応を問題にしているのではなく、「甘口の酒, 味噌」「甘塩の鮭」のようなものの「甘い」は、「辛い」あるいは刺激性の味覚のあるものについて、

その度合いが弱いことを表している」と記述している。

- 4 五感のうち、味覚のほかに嗅覚・視覚・聴覚・触覚の四つの感覚があるが、小出(2003)では、「味覚形容詞で修飾される感覚のうちより多く味覚形容詞を受け入れる順位は、嗅覚→聴覚→視覚→触覚である」と記している。さらに、「表2 他感覚表現の可能性の違い」によると、「甘い」が触覚を修飾する例が少ない上に、「辛い」が触覚を修飾する例が一つもない。したがって、ここでは主に嗅覚・視覚・聴覚の三つの感覚を指している。
- 5 中国語の用例は現代漢語語料庫(関西大学 現代中国語コーパス)とCCL語料庫(北京大学漢語語言学研究中心 CCLコーパス)を利用したものである。現代漢語語料庫(関西大学 現代中国語コーパス)からの用例は、すべて『人民日報』からの用例で、用例の出典には記事の年月日だけを記した。CCL語料庫(北京大学漢語語言学研究中心 CCLコーパス)からの用例の出典は多種多様で、新聞・雑誌は出版年だけを記し、翻訳作品は作品名、小説は作者と書名を記した。なお、

(c13) (c38) の「『读者』合订本」は『读者』という雑誌の合本である。

6 ( ) 内は中国語の用例の訳で、筆者がつけた。本稿の分析を際立たせるために直訳した。

### 参考文献

- 白静姫 (2005) 「日本語と韓国語の味覚形容詞の多義性—「甘い」「辛い」と「달다」「맵다」を中心に—」『日本學報』第62輯 (韓國日本學會)
- 黄宝珍 (2006) 「汉日语味覚詞対比研究」『山西农业大学学报』第5卷
- 小出慶一 (2003) 「味覚形容詞—体系とその意味拡張—」『群馬県立女子大学国文学研究』第23号
- 近安里 (1997) 「多義語「甘い」の構造的考察—英語 sweet との比較を通して—」『明治大学日本文学』第25号
- 武藤彩加 (2001) 「味覚形容詞「甘い」と「辛い」の多義構造」『日本語教育』第110号 (日本語教育学会)
- 尤東旭 (1994) 「「味」に関する形容詞の比喩的表現—日中対照—」『岡山大学国語研究』第8号
- 張紹岩 (1999) 「日汉语基本味覚詞引申义之比较」『解放军外国语学院学报』第22卷

### 利用したコーパス類

- CD-ROM版『新潮文庫の100冊』(新潮社)
- CD-ROM版『新潮文庫の絶版100冊』(新潮社)
- 現代汉语语料库 (関西大学 現代中国語コーパス)  
<http://china.fl.kansai-u.ac.jp/>
- CCL语料库 (北京大学汉语语言学研究中心 CCLコーパス)  
[http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl\\_corpus/index.jsp](http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp)

### 付 記

本稿は、崔の研究成果をまとめたものである。  
馬場は指導教員として指導助言を行った。

(崔 明愛 札幌校大学院生・  
瀋陽師範大学講師)  
(馬場 俊臣 札幌校教授)